

2017年10月6日

私たち東京18区市民は安保法制の廃止と憲法9条の改悪に反対するなど多くの国民の声を国会に反映させ、小選挙区で野党統一候補を実現するために、各地で活動してきました。小金井では市民連合を結成し昨年5月に18区で統一候補を実現する円卓会議をひらきました。府中では昨年6月来、ふちゅう市民連合が数回の集会を開いて、野党統一の実現を広く市民に呼びかけて来ました。そして今回の解散総選挙を前にして、武蔵野市民の有志も加わり、「選挙でかえよう！東京18区市民連合」をスタートさせました。

10月4日、日本共産党の東京都委員会は、10月10日公示、22日投票予定の第48回総選挙において、東京18区で擁立していた小泉たみじ候補の立候補を取り下げることを決定しました。これによって立憲野党候補は立憲民主党の菅直人さんに、一本化されました。

私たちは、憲法9条の改悪を阻止するための護憲勢力を確保し、安倍自公政権とその補完勢力を少数に追い込むという大義のために、あえて自党候補を取り下げた日本共産党の英断を高く評価し、心からの敬意を表するとともに、立憲野党、市議会議員の方々がこの英断に応え、さらに協議を進め、市民と野党の統一候補として、政策協定を締結し、効果的な選挙体制を築いて、野党、民主的団体等が最大限の力を発揮できるような措置をとられるように心から期待します。

東京18区市民連合は、菅直人さんには、今までもこがねい市民連合の10項目の「私たちが望むこと」、ふちゅう市民連合の9項目の「私たちの目標」などを尊重することを表明いただいています。市民と野党の統一候補になるにあたってあらためて菅直人さんとの間で、5項目の政策協定を締結します。

そして、東京18区市民連合は、10月10日から始まる総選挙で「政治に市民常識を」掲げる市民と野党の統一候補・菅直人さんを国会に送るため、全力をあげて取り組む決意を表明します。

以上

私たち、選挙で変えよう！東京18区市民連合は、安倍政権の暴走を止めるため、菅直人氏（立憲民主党）を統一候補として共にたたかうことを決意し、政策協定を結ぶこととしました。

1. 安倍政権による憲法改定に反対する
2. 安保法制の廃止、共謀罪法の廃止、立憲主義の回復に全力を尽くす
3. 原発ゼロの社会を目指し再稼働に反対する
4. 貧困と格差の是正を求める
5. 政治を身近なものにするため市民との対話集会を継続的に開催する

2017年10月5日